

平成 26 年度青森市子ども会議開催概要 ＜夏休み集中開催：観光グループ「Blue Forest」①＞

- 1 日時 平成 26 年 8 月 12 日（火） 9 時 30 分～16 時 00 分
- 2 場所 青森市総合福祉センター2 階 集会室
- 3 出席者 Blue Forest メンバー5 名（欠席者 6 名）
事務局 2 名

4 開催概要

「観光」をテーマに活動をしていくグループ「Blue Forest」は、小学生 3 名、中学生 5 名、高校生 3 名と、その活動を支える子どもサポーター 1 名で構成されたグループです。

青森をこよなく愛するメンバー。その名のとおりに「青⇒Blue」、「森⇒Forest」で「Blue Forest」（青森）というグループ名にしました。

自分たちが住む青森市の良さを知り、自分たちのまちに誇りを持つとともに、青森市内外にそのことを広めて行きたいという思いで「観光」をテーマに選んだメンバー達は、第 3 回の開催時に、青森の伝統文化である「ねぶた」や青森の地産物を使用した商品開発、観光ツアーなどを調査しようと考えていました。

午前中は、ねぶたについての知識を深めようと、自分達と同年代で、毎年、伝統の「担ぎねぶた」の制作・運行を行っている、青森県立青森工業高等学校「ねぶた部」を訪問し、午後は、「ねぶたの家ワ・ラッセ」の見学を行いました。

まずは、青森県立青森工業高等学校「ねぶた部」の訪問です。

すでに今年のねぶた祭りは終了していた上、夏休み期間中だったにも関わらず、2 名の先生方と 5 名のイケメン部員の皆さんが出迎えてくれました。

最初、緊張気味のメンバーでしたが、「ねぶた部」の皆さんのやさしく丁寧な説明を聞いているうちに、徐々に緊張がほぐれてきた様子でした。

高校生のねぶた祭り参加解禁と高校生ねぶ



たの誕生、青森工業高等学校「担ぎねぶた」20年の歴史等について説明を受けた後、ねぶたの作り方を教えてもらおうとした際に、「じゃあ、実際に骨組みや紙貼りをやってみよう！」ということになりました。

メンバー5名に対し「ねぶた部」の皆さんも5名、マンツーマンによるねぶた制作指導が始まりました。

怪我をしないように、針金を糸で固定し、和紙を貼り付けるところまで体験しました。



メンバーからの質問の時間には、「ねぶた部に入ろうと思ったきっかけは?」、「ねぶた制作で一番難しいところは?」、「高校を卒業した後もねぶたに携わっていきたいと思いますか?」などといった数々の質問に対して、イケメン部員の皆さんは親切・丁寧に答えてくれた上、最後に、一人一人に、部員の皆さんが制作した「金魚ねぶた」をいただきました。

「ねぶた部」の皆さん、そして先生方には本当にお世話になりました。おじゃまさせていただいたメンバーにとって、なかなか経験できない貴重な時間となり、また、良い思い出にもなりました。本当にありがとうございました。

「担ぎねぶた」の伝統継承や今後の制作・運行の成功を心よりお祈りいたします。

午後は、青森市が誇る伝統文化「ねぶた」についての観光スポットである「ねぶたの家ワ・ラッセ」を訪問し、ねぶたの歴史等の調査や子ども目線による「ワ・ラッセ」体験を行いました。

お盆直前であり夏休み中でもあったことから、「ねぶたの家ワ・ラッセ」は観光客等で混みあっている中、メンバーたちは一通り施設内を調査し、総合福祉センターに戻りました。



最後に、メンバーそれぞれが一日の活動内容をまとめ、この日の活動を終えました。次回は青森の地産物を使用した商品開発や商業に関する様々な活動を行っている、青森県立青森商業高等学校の「商業研究部」を訪問する予定です。